

2025年度 ニチキッズはくさんうら保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月19日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの想いを受容し寄り添うこと、そして発見や気付きも大切にしながら想いをくみ取る姿勢の重要性を園内研修で学び合った。子どもたちが安心して遊び学べる保育園作りをしていくようにした。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりの発達や個性に応じた活動内容・保育内容・環境設定を行うことを心掛けてきた。また、その時々の子どもの想いや姿を丁寧に受け止めながら、柔軟で応答的な保育の実践に努めていきたいと考えている。
保護者に対する支援	日々の連絡帳や送迎時の対話を通して子どもの様子や育ちを伝えあい、家庭での姿も共有しながら成長を共に見守る姿勢を大切にしてきた。保護者の声にも丁寧に耳を傾け、行事前後にも想いを共有し合うよう努めた。
保育を支える組織的基盤	職員会議やクラスミーティングで課題を共有し、全員で話し合うことで一人で抱え込まない体制づくりに努めた。今後も個の課題を全体の課題として捉え、チームで支え合いながら保育を行っていく。

総評
保育園の保育理念・保育方針を踏まえ、子ども一人ひとりの想いを受容し、発達に合わせた活動や保育内容、環境設定を大切にしてきた。また、食育の充実を図り、給食室と連携しながら取り組みを進めることで、保育園ならではの体験の機会を設けることができた。食育を通しての新たな発見や経験から、食への興味関心が広がった子どもたちの姿があり、食育の大切さを改めて実感した。次年度に向けては、発達理解をさらに深め、一人ひとりがじっくり遊び込める環境づくりを目指していきたい。